

事業名	武田の杜管理費			財務コード	009504
細事業名	森林セラピー基地づくり事業費				
担当部課室	森林環境 部	県有林 課	森林利用 担当 (内線)	6264	

調書番号	72
------	----

I 事業の概要

実施期間	始期 H26 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 山梨県立武田の杜保健休養林	その対象をどのような状態にして 森林セラピー基地が活性化されている	結果、何に結びつけるのか 森林セラピー利用者の増加
	内容 ・山梨県立武田の杜保健休養林内の森林セラピー基地認定維持に必要な、認定機関NPO法人森林セラピーソサエティへの年会費としての負担金 ・全国の森林セラピー基地認定団体との情報交換により、基地の活性化や利用者増加を図るために加入している、「森林セラピー全国ネットワーク会議」年会費としての負担金 ・全国ネットワーク会議参加のための旅費 ・武田の杜森林セラピー基地運営協議会における情報交換		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
活動指標	ネットワーク会議への参加(2回)ならびに武田の杜森林セラピー基地運営協議会(3回)における情報交換の回数	目標	5	5	5	5	5	5	
		実績(見込)	5	5	4	5	5		
		達成率		100.0%	100.0%	80.0%	100.0%	100.0%	
		達成区分		b	b	b	b	b	
成果指標	森林セラピー参加者数	目標	220	222	224	226	228	230	
		実績(見込)	217	230	278	235	240		
		達成率		98.6%	103.6%	124.1%	104.0%	105.3%	
		達成区分		b	b	b	b	b	
決算(予算) 単位: 千円				1,000	172	100	107	114	123

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	全国ネットワーク会議では、他基地と基地運営にかかる情報交換や、企画、マーケティングなどについてワークショップ形式の研修が行われ、これにより得た情報を、武田の杜森林セラピー基地運営協議会において、基地認定ガイドにフィードバックすることで、企画の充実や、PR方法等の見直しが行われ、利用者増につながるなど意図した成果を上げている。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	他基地との情報交換等により、基地の活性化が図られ、更なる利用者増加につなげることができる。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		
その他	説明	森林セラピー基地維持に必要な認定機関の年会費及び唯一の運営協議団体である全国ネットワーク会議の年会費及び会議出席の旅費であり、必要最小限の事業費であることから、見直す余地がない。		
見直しの必要性	無	森林セラピー基地維持に必要な認定機関の年会費及び唯一の運営協議団体である全国ネットワーク会議の年会費及び会議出席の旅費であり、必要最小限の事業費であることから、見直す余地がない。		

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。